

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 クラスターテクノロジー株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4240 URL <https://www.cluster-tech.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 安達 良紀
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 駒井 幸三 TEL 06-6726-2711
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	664	51.3	113	465.2	115	432.5	104	553.4
2025年3月期中間期	439	0.8	20	△39.2	21	△36.3	16	△39.7

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	18.39	—
2025年3月期中間期	2.81	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,971	1,733	87.9
2025年3月期	1,836	1,651	90.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,733百万円 2025年3月期 1,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	4.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,290	26.1	165	51.8	168	51.5	112	8.9	19.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	5,692,800株	2025年3月期	5,692,800株
2026年3月期中間期	208株	2025年3月期	208株
2026年3月期中間期	5,692,592株	2025年3月期中間期	5,692,592株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間会計期間における世界経済は、トランプ米政権による関税政策の本格発動後も底堅い成長を維持しております。一方、中東情勢やウクライナ紛争などの地政学的緊張により社会の分断は一層深まっている状況であります。

わが国においては、米政権の関税政策に対する過度な警戒感が和らぎ、大企業製造業・非製造業の景況感（9月の日銀短観）は底堅く推移しました。また2025年度の設備投資計画は、深刻な人手不足で省力化やデジタル投資の意欲が強く、全規模全産業で拡大基調が維持されております。

このような状況下、当社は、売上高が外部環境に大きく影響を受けにくい企業体質へ転換を図る、中期経営計画（2025年3月期から2027年3月期）を前期よりスタートし、「経営方針」としては「チームワークと実行力の強化！」をスローガンに、各方針を推進しております。

- ① 新規開拓に向けた営業力の強化
- ② 環境への対応と未来への商品開発
- ③ 生産力の強化と人材育成

ナノ／マイクロ・テクノロジー関連事業については、全ての分野の売上高は前年同期比で増加いたしました。

同関連事業の分野別状況は以下のとおりです。

映像機器分野は、デジタルカメラ市場において、レンズ交換式デジタルカメラの生産台数（2025年1-9月累計）は、約490万台となり、前年同期比6.7%増と好調に推移しました。ミラーレスカメラはレンズ交換式デジタルカメラ全体の約89%を占め、同生産台数は約438万台となり、前年同期比12.3%増となりました。当社においては、ミラーレス機種や人気機種の好調に支えられ、売上高は前年同期比で増加しました。

OA機器分野は、期初予想通り、過去2年間の売上高低迷から回復し、前年同期比で増加しました。

産業機器分野は、産業用インクジェットプリンターヘッド及び同金型の売上高が寄与したことなどにより、前年同期比で大幅に増加しました。

レジャー分野は、新機種の売上高が引き続き堅調に推移し、売上高は前年同期比では大幅に増加しました。

パルスインジェクター®（以下、PIJという）は、引き続き、大学研究室及び各企業の研究・開発部門を中心に研究開発を支えるツールとして多分野への展開を推進いたします。

マクロ・テクノロジー関連事業については、国内の積極的な設備投資やバブル期からの受電設備のリニューアル需要もあり、樹脂成形品、樹脂成形材料ともに前期後半以降の回復基調が続く、また金型の売上高も寄与し、前年同期比で大幅に増加しました。

「新規開拓に向けた営業力の強化」については、顧客訪問件数及び進捗状況の共有化、見える化を推進しております。自社活動と商社連携活動の両輪により、顧客との直接対話を増やしながら、積極的な受注活動を行ってまいります。

利益面においては、売上高が大幅に増加し、工場の稼働率が向上したことや利益率の高い製品の寄与等で売上総利益率は改善いたしました。販管費は、当初想定していた費用が下半期にズレ込む見通しとなりました。以上の結果、営業利益は予想を大幅に上回りました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は664百万円（前年同期比51.3%増）、営業利益は113百万円（前年同期比465.2%増）、経常利益は115百万円（前年同期比432.5%増）、中間純利益は104百万円（前年同期比553.4%増）となりました。

当中間会計期間セグメントの業績は次のとおりであります。

①ナノ／マイクロ・テクノロジー関連事業

ナノ／マイクロ・テクノロジー関連事業につきましては、機能性樹脂複合材料及び機能性精密成形品並びにP I J 関連製品の当中間会計期間の売上高は543百万円（前年同期比55.9%増）、セグメント利益は261百万円（前年同期比65.7%増）となりました。

②マクロ・テクノロジー関連事業

マクロ・テクノロジー関連事業につきましては、機能性樹脂複合材料、樹脂成形碍子及び金型・部品の当中間会計期間の売上高は114百万円（前年同期比40.0%増）、セグメント利益は32百万円（前年同期比42.8%増）となりました。

③その他事業

その他の事業につきましては、医療薬品容器の異物検査事業などにより、当中間会計期間の売上高は6百万円（前年同期比27.0%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期比31.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間会計期間末における資産は、2025年3月期末より135百万円増加し、1,971百万円となりました。

これは、主に現金及び預金の増加99百万円、有形固定資産のその他に含まれる機械装置の増加18百万円、工具器具備品の増加7百万円、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産の増加11百万円によるものです。

（負債）

負債合計は、2025年3月期末より53百万円増加し、238百万円となりました。

これは、主に賞与引当金の増加17百万円、流動負債のその他に含まれる未払金の増加35百万円によるものです。

（純資産）

純資産は、2025年3月期末より81百万円増加し、1,733百万円となりました。

これは、中間純利益104百万円の計上、配当金の支払による22百万円の減少によるものです。

また、自己資本比率は、2025年3月期末に比して2.1ポイント減少して87.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ10百万円減少し、当中間会計期間末には348百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前中間純利益115百万円に減価償却費29百万円、賞与引当金17百万円、仕入債務の減少13百万円等を加減した結果、150百万円の増加となりました。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の新規預入、固定資産の取得による支出等により、137百万円の減少となりました。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払、リース債務の返済による支出等により、23百万円の減少となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月14日付（本日）「2026年3月期 第2四半期（中間期）個別業績予想と実績との差異及び通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」で発表しております。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	989,050	1,088,500
電子記録債権	9,911	15,093
売掛金	166,080	171,382
商品及び製品	22,884	24,409
仕掛品	55,517	36,056
原材料及び貯蔵品	71,961	82,820
その他	4,906	5,231
流動資産合計	1,320,313	1,423,493
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	155,052	151,604
土地	160,500	160,500
その他（純額）	149,406	176,485
有形固定資産合計	464,959	488,589
無形固定資産	19,339	17,133
投資その他の資産	31,485	42,668
固定資産合計	515,784	548,391
資産合計	1,836,097	1,971,885
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,489	38,417
未払法人税等	15,419	27,228
賞与引当金	30,857	48,118
その他の引当金	-	1,009
その他	74,851	113,075
流動負債合計	172,617	227,848
固定負債		
長期未払金	3,620	3,620
リース債務	8,151	6,806
固定負債合計	11,771	10,426
負債合計	184,388	238,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,240,721	1,240,721
資本剰余金	5,927	5,927
利益剰余金	405,187	487,088
自己株式	△126	△126
株主資本合計	1,651,709	1,733,610
純資産合計	1,651,709	1,733,610
負債純資産合計	1,836,097	1,971,885

（２）中間損益計算書

	(単位：千円)	
	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	439,244	664,643
売上原価	257,329	368,838
売上総利益	181,915	295,804
販売費及び一般管理費	161,829	182,277
営業利益	20,085	113,526
営業外収益		
受取利息	281	1,402
売電収入	698	748
助成金収入	1,017	-
その他	124	515
営業外収益合計	2,120	2,666
営業外費用		
支払利息	146	117
売電原価	327	327
固定資産除却損	-	33
営業外費用合計	474	478
経常利益	21,731	115,714
税引前中間純利益	21,731	115,714
法人税、住民税及び事業税	4,557	22,196
法人税等調整額	1,153	△11,154
法人税等合計	5,711	11,042
中間純利益	16,020	104,671

（3）中間キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	21,731	115,714
減価償却費	26,737	29,908
長期前払費用償却額	78	1
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,005	17,260
受取利息及び受取配当金	△281	△1,402
支払利息	146	117
売上債権の増減額（△は増加）	67,186	△10,483
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,653	7,077
仕入債務の増減額（△は減少）	△24,275	△13,071
未払消費税等の増減額（△は減少）	△10,079	△400
その他の資産の増減額（△は増加）	1,999	1,063
その他の負債の増減額（△は減少）	△7,650	15,425
その他	△51	△47
小計	71,883	161,164
利息及び配当金の受取額	1	15
利息の支払額	△146	△117
法人税等の支払額	△8,543	△10,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,194	150,752
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,115	△120,117
定期預金の払戻による収入	10,115	10,115
有形固定資産の取得による支出	△6,244	△27,659
長期前払費用の取得による支出	△27	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,272	△137,690
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,287	△1,315
配当金の支払額	-	△22,298
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,287	△23,614
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	55,635	△10,552
現金及び現金同等物の期首残高	262,726	358,935
現金及び現金同等物の中間期末残高	318,361	348,382

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	ナノ／ マイクロ・ テクノロジー事業	マクロ・ テクノロジー事業	計				
売上高							
樹脂	1,723	38,887	40,611	—	40,611	—	40,611
成形品	320,891	42,872	363,764	—	363,764	—	363,764
金型	23,273	—	23,273	—	23,273	—	23,273
その他	3,004	148	3,153	8,442	11,596	—	11,596
外部顧客への売上高	348,893	81,908	430,802	8,442	439,244	—	439,244
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	348,893	81,908	430,802	8,442	439,244	—	439,244
セグメント利益	157,798	22,969	180,768	1,147	181,915	—	181,915

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療薬品容器の異物検査事業などを含んでおります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の売上総利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	ナノ／ マイクロ・ テクノロジー事業	マクロ・ テクノロジー事業	計				
売上高							
樹脂	2,485	43,959	46,445	—	46,445	—	46,445
成形品	460,744	59,015	519,760	—	519,760	—	519,760
金型	73,157	11,082	84,239	—	84,239	—	84,239
その他	7,428	604	8,032	6,164	14,197	—	14,197
外部顧客への売上高	543,816	114,662	658,478	6,164	664,643	—	664,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	543,816	114,662	658,478	6,164	664,643	—	664,643
セグメント利益	261,498	32,793	294,292	1,511	295,804	—	295,804

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療薬品容器の異物検査事業などを含んでおります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の売上総利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。